

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	生涯を通じて学びあうまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部堀金地域課	課長	平倉 秀一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	高齢者を含むすべての市民が、生きがいを持って暮らせる社会を実現するために、生涯学習の機会の拡大と充実が求められています。公民館で学んだ知識を地域づくりに活かしている市民の割合は、17.1%となっており、学んだ成果を活かして地域で活動している人が少ない現状があります。こうしたことから、学んだ成果を地域に活かす活動を積極的に支援することが求められています。また、誰もが学びやすく学習意欲が高まる環境づくりに取り組むことや、市民の高度化・多様化するニーズに対応した生涯学習の機会を提供することが必要です。
基本方針 (目指すべき方向性)	市民誰もが多様な学習機会を選択できるとともに、快適な学習環境が確保され、その学習成果が市民の心身の健康づくりに寄与し、家庭や地域に還元されることを目指します。 また、図書館は、市民の多様なニーズに応え、質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座数 (回/年)	回	136	150	105	97	129	86	停滞	生涯学習課
生涯学習受講者数 (人/年)	人	19,971	21,000	21,547	30,558	21,391	101.8	順調	生涯学習課
図書館の年間利用者数 (人/年)	人	391,140	440,000	379,225	414,307	419,914	95.2	順調	図書館交流課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位: 円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0110750	堀金公民館施設管理運営事業	地域担当 (堀金)		5,333,855	3,774,442				9,108,297	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.7	
2	0110755	堀金公民館事業	地域担当 (堀金)		4,718,086	4,309,458	4,868,000	4,868,000	18,763,544	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.5		
合計					10,051,941	8,083,900	4,868,000	4,868,000	27,871,841							

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	衆議院選挙の影響で市民運動会は中止となりました。しかし、それ以外の事業は計画どおり開催する事ができました。地域の歴史、文化を学ぶ講座は、拾ヶ堰を中心に3件の講座を開催しました。拾ヶ堰への関心の高まりもあり、全ての講座において多数の参加者があり、とても盛況でした。又、芸能団体の活性化のために、ミニステージライブを2回開催しました。来年度開催希望の団体もあり継続性のある事業として定着しました。今後も多くの団体にピーアールを行い発表の機会を増やしていきます。このことから、事業成果は大いにあったものと思われまます。
重点化事務事業の考え方	なし
縮減・廃止事務事業の考え方	なし
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	長年継続している事業・講座については、効率的かつ発展性のあるものへの事業見直しが必要です。平成30年度の地域の歴史、文化を学ぶ講座は、盛況であった拾ヶ堰講座の継続と、新たに白井吉見、岩原城址へスポットを当てた講座を開催予定です。対象者の拡大に向けた講座に取り組みます。

平成29年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	協働によるまちづくりの推進
基本方針	協働で築かれるまち
基本施策名	協働のまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部堀金地域課	課長	平倉 秀一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	地域が抱える課題や価値観の多様化といった社会の分化が進み、行政だけでは解決することが困難な問題が多くなってきています。これからのまちづくりを進めていくには、市民と行政のパートナーシップを強めるとともに地域の情報を共有し、市民一人ひとりが主体的に市政やまちづくりに参画することが必要です。また、自治基本条例に規定された自治の基本理念を踏まえた上で、市民意識の向上に努め、主体的な公益活動への参画を促進することや、地域コミュニティの再構築を進めるなど、あらゆる分野において、市民と行政による協働のまちづくりを推進する体制を整えていく必要があります。
基本方針 (目指すべき方向性)	まちづくりにすべての市民が関わり、あらゆる対等な主体の明確な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化することにより、住みよい地域づくりを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
市民活動センター登録団体数	団体	38	150	57	59	73	48.7	停滞	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0102115	堀金地域づくり事業	地域担当(堀金)		1,088,420	1,472,590	1,124,000	1,124,000	4,809,010	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	○
合計					1,088,420	1,472,590	1,124,000	1,124,000	4,809,010						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	市と区が協働して地域の諸課題解決に向けた取り組みができました。特に区への部制度導入支援は、部の組織案や規約改正案を示し2地区の導入ができませんでした。又、ほりがね秋の振興祭りは、同時開催の常念フェスティバルと相乗効果があり、多くの来場者で賑わいました。このことから、事業成果は大いにあったものと思われます。
重点化事務事業の考え方	平成29年に「自治基本条例（平成29年安曇野市条例第4号）」の目的は、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目的としています。あらゆる分野において、市民と行政による協働のまちづくりを推進する体制を整えていく上で、地域区長会との連携強化は実効性のある推進事業となります。
縮減・廃止事務事業の考え方	なし
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	部制度導入への支援は、9地区中2地区の導入ができませんでした。平成31年度導入に向け残りの区においても平成30年度中に体制協議、及び規約改正の予定をしています。この状況を鑑み、ある程度部制度移行への道筋は開けたと判断し、部制度移行支援は、各区の個別案件として対応します。平成30年度は、区未加入者解消のための転入者の把握、未加入者の連絡手段、各区の独自課題を中心に、より直面している問題を掘り下げて、区の課題解決に取り組みます。

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	行政改革の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部堀金地域課	課長	平倉 秀一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	公共施設においては、将来人口や財政規模などに応じた施設総量や施設内容の見直しが必要となります。施設の新規整備は原則行わないことや、既存施設を更新(建替)する場合には複合施設とすることや、その公共施設等における行政サービス等のあり方、管理経費の縮減、各部署の職員連携等も含めて現在対応しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	市民と協働し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現と「効率的で持続可能な安曇野市の運営」を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
市職員数	人	750	735	734	733	735	100	順調	職員課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0102110	堀金支所等施設管理運営事業	地域担当(堀金)		22,067,576	20,319,771				42,387,347	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.7	
合計					22,067,576	20,319,771				42,387,347						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	複合施設の一体的、計画的な維持管理のもと、特に光熱水費については、庁舎内の関係部署と緊密に連携し、こまめな節電、節水に心がけました。その成果もあり昨年度と比較し、光熱水費使用料の縮減に繋がりました。このことから、事業成果は大いにあったものと思われます。
重点化事務事業の考え方	なし
縮減・廃止事務事業の考え方	なし
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	市民の交流、文化、行政サービスの場として、その機能を十分に発揮できるように施設管理に努めてきました。複合施設の一体的、計画的な維持管理のもと、特に光熱水費については、庁舎内の関係部署と緊密に連携し、こまめな節電、節水に心がけました。その成果もあり昨年度と比較し、光熱水費使用料の縮減に繋がりました。平成30年度も関係部署と連携を密にし、経費削減目標値を決め合理的な施設管理の運営に努めます。

平成29年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	健全な自治体経営の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部堀金地域課	課長	平倉 秀一
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	当施設は、平成14年8月に竣工し築15年を超過し老朽化が進んでいます。その中で、竣工当時村役場の庁舎から合併後は、総合支所庁舎、その後複合施設庁舎へと組織改編と併せ、庁舎利用者のニーズに沿った施設形態へと変革してきています。施設の長寿命化のためにも躯体等の耐久性が確保されている限り、改築工事より安価な大規模改修工事を取り入れ、用途や機能を変更して性能を向上させたり、付加価値を施設へ与える施設づくりが必要となります。
基本方針 (目指すべき方向性)	計画行政に徹するとともに、組織機構の見直しや行政改革により、予算編成・予算執行の適正化を図り、持続可能な健全財政の運営を目指します。 また、公平な課税、的確な課税客体の把握とともに、広報活動をより一層充実させることにより、収納率（収入率）を向上します。 さらに、広域的な地域づくりを進めるため、より効率的な広域連携を進めていきます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
税込納率（現年分）	%	98.46	98.5	99.1	99.2	99.3	100.6	順調	収納課
実質公債費比率（3年平均）	%	12.9	12	10.5	9.6	9.4	100	順調	財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102112	堀金支所車庫等改修事業	地域担当（堀金）			6,307,200			6,307,200	ハード（新規）	新規	H29	現状のまま事業を実施することが適当	0.15	
合計						6,307,200			6,307,200						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	年度当初から、用途変更を伴う改修工事に取り組んだことから、倉庫として早期に使用することができました。また、マイクロバス車庫天井部の亀裂箇所も同時にコーティング塗装をしたことにより、漏水による鍾乳化も改善し、車体への汚れやキズ防止にも繋がりました。このことから、事業成果は大いにあったものと思われま。
重点化事務事業の考え方	なし
縮減・廃止事務事業の考え方	単年度の改修工事事業
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	施設の長寿命化のために改修工事は必要でした。庁舎利用者のニーズに沿った用途や機能に変更し倉庫としての機能性を持たせました。また、マイクロバス車庫天井部の亀裂箇所も同時にコーティング塗装をしたことにより、漏水による鍾乳化も改善し、車体への汚れやキズ防止にも繋がりました。